報道関係各位 2024 年 6 月 18 日

品質マネジメントシステムソフトウェア「e1ns(アインス)」を 国内で初めて販売開始します

~品質リスク分析プロセスを一元管理し、 IATF16949 に準拠した品質マネジメントを実現~



株式会社構造計画研究所は、品質マネジメントシステムソフトウェア「elns (アインス)」の 国内販売を開始します。

elns は PeakAvenue GmbH(本社:ドイツ リューベック、CEO: Ulrich Mangold 氏、以下 PeakAvenue 社)が開発した、FMEA(故障モード影響解析)1を中心とした品質最適化活動を体系的に管理・運用できるソフトウェアです。自動車産業に特化した国際的な品質マネジメントの規格である IATF169492全体をカバーしており、顧客要求から FMEA、コントロールプランまで、品質マネジメントに関するデータをデジタルアセットとして一元管理することができます。

当社は、品質マネジメントに関するサービス、ソフトウェアの提供に長年携わってきた知見を活かし、この度日本における初めての正規販売代理店としてelnsの取り扱いを開始します。

 1 FMEA(故障モード影響解析): 設計段階でリスクを予測し、製造プロセスや製品そのものに潜むリスクを事前に取り除く管理手法。

² IATF16949: 品質マネジメントシステムに関する国際規格である ISO9001 に、自動車産業固有の要求事項を加えた品質マネジメント規格。世界の多くの自動車メーカーが自動車部品のグローバルな調達基準として採用している。





■ 背景

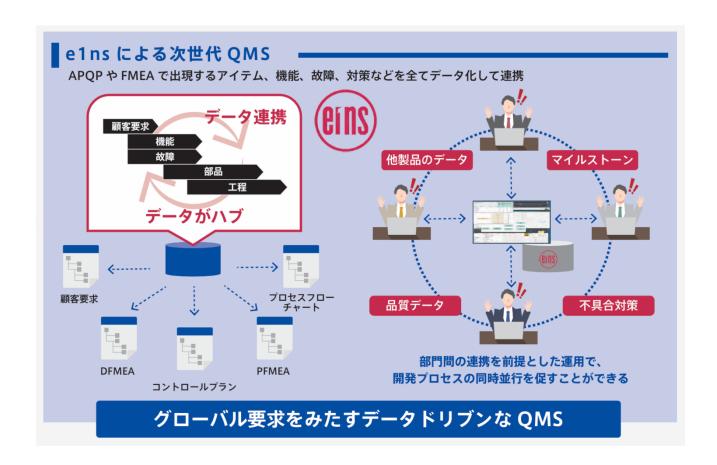
自動車業界では、国際規格 IATF16949 に準拠した品質マネジメントが求められています。その中で取り扱う様々な情報は大規模化・複雑化しており、手作業と人の気付きに依存した管理は限界を迎えています。したがって、監査や顧客の要求に対応する際には、「仕組み」と「データ」によって明確な説明ができるか否かが極めて重要になっています。

IATF16949に基づく品質マネジメントを行う上では、特に以下の事項が要求されます。

- ①顧客要求から FMEA、コントロールプランまで一貫してつながる品質最適化プロセスを実行していること
- ②品質活動が組織的に管理されていること
- ③品質マネジメントシステムがナレッジとなり、常に改善され、成長していくこと

一方で、現状の日本の製造業においては、品質マネジメントにおける成果物が Excel やファイル共有システムによる管理にとどまり、品質最適化プロセスや活動の管理、判断基準が個人の経験や知見に依存していることも少なくありません。

elns は、上記の要求事項を満たし、データドリブンな品質マネジメントを実現するソフトウェアです。製品開発フローにおける品質リスクに関するデータを一元管理して連携させ、組織間で共有・活用することで、グローバルレベルの品質マネジメントを実現する仕組みが用意されています。すでに全世界で1500社以上の導入実績があります。



■ 製品の特長

(1)グローバル要求をみたすフレームワークに対応

IATF16949 の品質マネジメントに必要なフレームワークである APQP、AIAG-VDA 統合 FMEA、8D レポートなどを搭載しています。

(2)品質対策の管理実行力を向上

計画されたマイルストーンや FMEA で特定したリスクへの対応、不具合対策等の実行と承認を抜け漏れなく管理できます。

③FMEA の信頼性向上

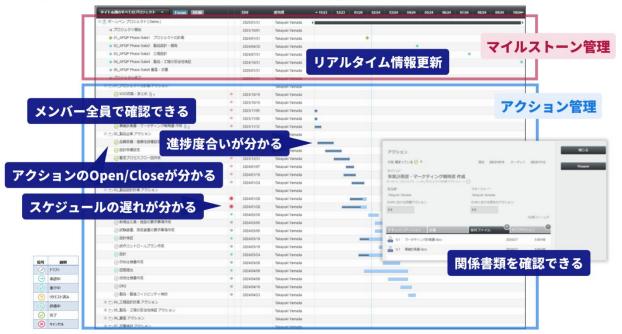
組織内の技術や過去の知見、プロジェクトで得られた気づきを FMEA やコントロールプランなどに 反映し、継続的に改善する仕組みを持っています。

elns 製品ウェブサイト: https://qms.kke.co.jp/lp-fmea



■リアルタイムでの進捗状況のモニタリング、関係書類や活動結果の確認

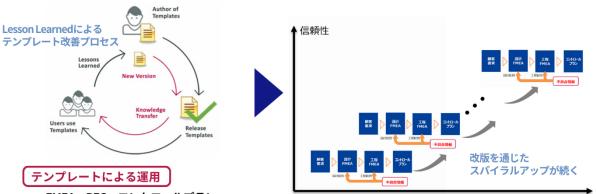
メンバー全員で業務進捗のクロスチェックが可能に



▲メンバー全員でマイルストーンや、タスク・アクションのワークフローを管理できる

■継続的に改善する仕組み

テンプレート化による信頼性向上 ナレッジの持続的成長が組織の資産になる



- FMEA、PFC、コントロールプラン
- システム構造
- 機能・故障ネット
- FMEAアクション など

▲知見を FMEA に反映し継続的な改善活動を行うことで、信頼性の向上につなげる仕組み



■ PeakAvenue 社とのパートナーシップ契約について

elns の国内販売開始にあたり、開発元の PeakAvenue 社とパートナーシップ契約を締結しました。

【PeakAvenue 社 CEO Ulrich Mangold 氏からのコメント】

My personal history is closely linked to Japan, and I am therefore all the more pleased about our common future path. Side by side with KKE, we will successfully support Japanese customers in becoming quality champions.

私自身、個人的に日本と深い関係があるため、ともに将来の道を築いていけることを大変喜ばしく思います。私たちは構造計画研究所とともに、日本のお客様が「品質のチャンピオン」になる成功を支援していきます。



▲パートナーシップ契約締結セレモニーの様子

■ elns 日本向けサービス開始記念セミナーを開催

PeakAvenue 社とのパートナーシップ提携および国内販売開始を記念して、「グローバル時代の IATF16949 品質マネジメントシステム」についてのセミナーを開催します。本セミナーでは、IATF16949 のコアツール (APQP、 FMEA、 PPAP、 MSA、 SPC) を包括的に支援している当社が、品質マネジメントシステムの DX について紹介します。さらに、IATF16949 に精通し



ている PeakAvenue 社をお招きして、グローバルで求められる品質マネジメントシステムについてご講演いただきます。

IATF16949 についての理解を深める絶好の機会ですので、皆様のご参加をお待ちしております。

- ・2024年7月23日(火) 13:30-17:00 東京(日本橋ホール)
- ・2024年7月26日(金) 13:30-17:00 大阪(アーバンネット御堂筋ホール)

詳細・お申し込みはこちら: https://kke.lmsg.jp/form/11672/BZANwBeO

構造計画研究所は、これまで 20 年間、IATF16949 をはじめとした国際規格で要求される品質マネジメントに対応したサービスを提供し、国内の製造業における不具合の未然防止と継続的改善を支援してきました。今後も、グローバルレベルの品質マネジメントシステムである elns を基盤に、当社が提供してきたサービスを組み合わせて、よりデータドリブンな品質マネジメントを促進するサービスの提供を目指します。引き続き PeakAvenue 社との連携を深め、製造業の多様なニーズに対応すべく、効果的かつ実行力のある品質マネジメントを実現してまいります。

■ 会社情報

【株式会社構造計画研究所】

構造計画研究所は、工学知を用いて社会の諸問題の解決に挑む技術コンサルティングファームです。1956年に構造設計事務所として創業して以来、「大学、研究機関と実業界をブリッジする Professional Design & Engineering Firm」として、建設・防災、情報・通信、製造分野や意思決定支援など多様な領域に事業を拡げてきました。工学知をベースにしたエンジニアリングコンサルティングおよびプロダクツサービスの提供を通じて、複雑化する社会課題の解決に日々取り組んでいます。

会社ウェブサイト: https://www.kke.co.jp

[PeakAvenue GmbH]

PeakAvenue はドイツのリューベックに本社を置く、エンジニアリングと品質管理のための革新的かつ国際的なソフトウェアソリューション企業です。製品ライフサイクル管理、リスク分析、要件エンジニアリングのための最先端のソフトウェアソリューションを通じて、多様な業界のニーズに応える高品質のツールとサービスを包括的に提供します。これにより、製造ビジネスを強化し、製品開発の効率性とコンプライアンスを向上させます。

PeakAvenue は、デジタルスレッドを通して、エンジニア、製造業者、サプライヤーを導く先進的なソリューションを提供することを目指しています。

会社ウェブサイト: https://www.peakavenue.com/



■ お問い合わせ先

<製品・技術関係窓口> 株式会社構造計画研究所 品質安全デザイン室

TEL: 03-5342-1027 e-mail: qms@kke.co.jp

<報道機関窓口> 株式会社構造計画研究所 営業支援室

TEL: 03-5342-1040 e-mail: kke-pr@kke.co.jp

※ 構造計画研究所および、構造計画研究所のロゴは、株式会社構造計画研究所の登録商標です。 その他、記載されている会社名、製品名などの固有名詞は、各社の商標又は登録商標です。